



ご紹介

101 シークレット

ピンクゴールドとピンクサファイアで表現した眩いばかりのハイジュエリー

「101 シークレット」ウォッチ

概要：

- ・ **ひそかに刻まれる時間：**シークレットウォッチの伝統からインスピレーションを得て、時計製造の独創性と時間をさりげなく隠す芸術が見事に融合
- ・ **卓越したジュエリングのサヴォアフェール：**163 時間の作業を要する、ブリリアントカット ピンクサファイア 124 個とブリリアントカット ダイヤモンド 904 個のセッティング
- ・ **小型化の極み：**世界最小の手巻き機械式角型ムーブメントキャリバー101 は、その精度と技術力を余すところなく発揮

ハイジュエリーウォッチ「キャリバー101」シリーズに、まばゆいばかりの新たなモデル「101 シークレット」が加わり、ジャガー・ルクルトは、この卓越した機構によって実現された、ハイジュエリーと高級時計製造の独創的な融合を改めて示しています。世界最小の手巻き機械式角型ムーブメントには、鮮やかなシクラメンカラーから淡いピンクへとグラデーションをなすピンクサファイアと、ダイヤモンド、そして 18K ピンクゴールド（750/1000）が組み合わせられ、3 本のみの限定生産となる「101 シークレット」を新たに解釈しています。

キャリバー101：小型化への道のりにおけるランドマーク

小型化の芸術：時計が初めて携帯可能なサイズになった 16 世紀初頭以来、時計製造の歴史は、計時精度の向上と同様に、何世紀にもわたる小型化への探求の歴史として捉えることができます。根本的な課題は、部品の小型化には、ほぼ例外なく堅牢性や信頼性の低下という代償が伴うというジレンマを解決することでした。19 世紀半ば以降、ジャガー・ルクルトは、極めて小型のムーブメントを開発することで知られるようになり、これにより、美学や装飾性を追求するために機械的な品質を犠牲にする必要がなくなりました。ジャガー・ルクルトの技術革新には、1880 年にエナメル加工され、宝石がセッティングされた小型時計用に発売されたルクルト製キャリバー7HP、1908 年に発売されたわずか 1cm のルクルト製キャリバー6EB などがあります。

デュオプランのブレイクスルー：1920 年代になると、腕時計が懐中時計に取って代わり始めた一方で、ライフスタイルの劇的な変化に伴い、より小型の時計や独創的なデザインに対する新たな需要が



生まれていました。ルクルトの解決策がデュオプランでした。1925 年に発明され、特許を取得したこのムーブメントは、その名称の由来ともなった 2 層構造を持つ長方形であり、脱進機を 1 つの面にセットし、香箱と歯車を別の面にセットすることで、従来のキャリバーの輪列に必要なスペースを効率的に半分に削減することができました。同様に独創的なのは、ケースバックにセットされたフラットなリ्यूズによってゼンマイが巻き上げられる点です。ルクルトのマニファクチュールはさらに一歩踏み込み、1929 年にキャリバー101 を発表しました。デュオプラン構造を採用し、正確な計時機能と小型化の共存を究極の形で体現しています。

世界最小のレクタングュラーキャリバー：長さ 14mm、幅 4.8mm、厚さ 3.4mm（体積はわずか 0.2cm³）のキャリバー101 は、74 個の部品で構成され、重量はわずか 1 グラム、つまり、蝶 2 匹分の重さでした。そのテンプは毎時 21,600 振動（周波数 3Hz）を誇り、ゼンマイは 33 時間のパワーリザーブを備えています。コンピューターを使った設計やレーザーカッティング、CNC 加工などの技術が用いられる半世紀以上も前に、これらの技術を一切用いることなく製作されたものであり、まさに驚くべき偉業でした。時計製造におけるその独自の価値を際立たせるものとして、これは今日に至るまで、世界最小の手巻き機械式角型ムーブメントであり続けています。また、これは世界でも最も古いムーブメントの一つであり、現在も生産が続けられているほか、ジャガー・ルクルトが自社ブランド名で製作したジュエリーウォッチや、他の名門メゾンが製作したジュエリーウォッチにも採用されてきました。

精度における伝統：過去 90 年間にわたる技術の進歩により、素材、輪列の設計、製造技術の改良が進んできましたが、キャリバーのサイズや構造は変わっていません。現在は、98 個の部品で構成されていますが、それぞれの部品のサイズが非常に小さいため、カスタム製造および調整の必要があり、そのためキャリバー101 の現行モデルは、第 5 世代に位置づけられています。キャリバー専門のアトリエで、ほんの一握りの時計職人のみが、この微細なスケールのムーブメントを組み立てるために必要な技術を習得しています。器用さ、極めて高い精度、並外れた忍耐力が求められ、また 98 個の部品を組み立てるのに 40 時間を要するため、生産数は年間わずか数十点にとどまっています。

キャリバー101 シークレット：ハイジュエリーウォッチの長い伝統を受け継ぐ新たな後継者

ジュエリーと時間が出会う場所：ジュエリーウォッチの伝統は、携帯用の時計が、特権と富の強力な象徴であった 18 世紀および 19 世紀のヨーロッパの宮廷にまでさかのぼることができます。この地位にふさわしく、ケースやダイヤルは、金細工職人、宝石細工職人、エナメル職人、エングレービング職人、ジュムセッターたちによって装飾が施されました。こうして、時計製造と宝飾の芸術、すなわち、技術的な独創性とデザインの美しさは、切っても切れない関係となりました。男性に先駆けて、女性が手首に時計を身に着けるようになってから数十年が経過した 20 世紀初頭には、腕時計は女性が所有できる最も実用的な装身具として認められるようになりました。



シークレットウォッチの伝統：卓越した職人技と微細な機械工学の独創性を、時代を超えたデザインや美しさと融合させた新作「101 シークレット」ウォッチは、20 世紀半ばに誕生した、全面にダイヤモンドをあしらった「シークレット」ウォッチシリーズをはじめ、グランメゾンが誇るジュエリーウォッチの長い伝統からインスピレーションを得ています。シークレットウォッチは、上流社会の女性たちは常に時刻を確認する必要がないという考えから生まれたもので、ダイヤルを覆う、蝶番で留められたカバーを必要に応じて開くことで初めて時刻が確認できる仕組みとなっていました。これは究極の思慮深さを体現するだけでなく、ジュエリー芸術にとって理想的な表現の場ともなったのです。

完璧な調和を奏でるサファイア：新作「101 シークレット」ウォッチは、ハイジュエリーの伝統的な様式を忠実に踏襲しています。ダブルリヴィエールスタイルのブレスレットは 18K ピンクゴールド（750/1000）で製作され、124 個のピンクサファイア（約 16.39 カラット）がセットされています。これらのサファイアは、鮮やかなシクラメンカラーから非常に淡いピンクまで、10 種類のサイズと 7 つの色調でグラデーションを描きます。対照的なグレインセッティングのホワイต์ダイヤモンドで区切られた 2 列の貴石はクロセッティングされ、宝石を通り抜ける光を最大限に取り込むことで、その色と輝きを一層引き立てています。ケースの側面にもサファイアとダイヤモンドがグレインセッティングされており、ダイヤモンドはブレスレット全体にわたってあしらわれています。時刻は、開くと、輝くホワイต์・マザー・オブ・パール ダイヤルに表示されます。ダイヤルは、ダイヤモンドがグレインセッティングされた長方形の 18K ピンクゴールド（750/1000）のベゼルに囲まれており、合計 904 個のブリリアントカット ダイヤモンド（約 13.26 カラット）があしらわれています。ジャガー・ルクルトのマニファクチュールの中心部にあるメティエ・ラールTM 工房で製作された、このジュエルセッティングの傑作は、完成までに 163 時間を要しました。

すぐそこにあるのに見えないマイクロメカニカル：マイクロメカニカル、テクノロジー、そして伝統的な職人技が見事に融合した「101 シークレット」ウォッチの開発には、ケースのデザイン、開閉機構、精密に連結されたブレスレット、そして宝石の配置を完璧なものにするために、数え切れないほどの研究時間と、多岐にわたる専門知識が必要とされました。時計の秘密の要素をデザインすることが、この挑戦に拍車をかけました。ダイヤルを見せるメカニズムは、ジュエルストーンの列の中に完全に隠すことができるよう、非常に小さなものでなければなりません。その位置は着用者のみを知ることができ、6 時位置の隠しボタンによって作動します。ボタンを押し下げると、ブレスレットの一部が本のページのように開き、時刻が表示されます。そして、ボタンを離すと、ダイヤルは再びピンクサファイアの帯の中に消えていきます。ブレスレットを手首に固定するクラスプにも、完全に隠れる二つ目の小さな機構を開発しました。





ミニチュア時計製造の技術的要件と、ジュエムセッティングの洗練された職人技の両面において、ジャガー・ルクルトの卓越した専門技術を余すところなく披露する新作「101 シークレット」ウォッチは、キャリバー101 がもたらす創造的な自由を華やかに称えるモデルです。このハイジュエリーウォッチは3本の限定生産です。

技術仕様

キャリバー101 シークレット

ケース：18K ピンクゴールド（750/1000）

サイズ：29.07 x 12.22 x 9.88mm

キャリバー：手巻キャリバー101

機能：時、分

パワーリザーブ：33 時間

ダイヤル：マザー・オブ・パール

宝石：ピンクサファイア 124 個（約 16.39 カラット）

ダイヤモンド 904 個（約 13.26 カラット）

ストラップ：18K ピンクゴールド（750/1000）、ブリリアントカットピンクサファイアとブリリアントカットダイヤモンドをセッティング、手首周り 160mm

リファレンス：Q2872310

3 本限定モデル

ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、故郷ジュウ渓谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™として知られるマニファクチュール工房は、1,400 を超えるキャリバーの制作と 430 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190 年以上にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。82 の工房、108 の職人技、235 の技法（うち 69 は独自の技法）を結集したマニファクチュール工房は、その技巧に、デザインの美しさと独特で控え目な洗練とを組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。